

第29回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和7年5月24日（土） 午前11時00分～12時30分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民10名
- 4 会議次第 (1) 開会
(2) 市長あいさつ（市政報告）
(3) 懇談（フリーテーマ）
(4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	歳入を増やすための教育資源の活用について	以前からベンチの増設をお願いしていましたが、徐々に増えています。どうもありがとうございます。まずはお礼を申し上げます。 小金井市は都内でも優秀な人材がたくさんいるのに、学校の授業を聞いて、そのとおりに答案を書くという勉強法が、日本の勉強法として取られています。 もっと考えることはいろいろあると思いますので、そういった環境を活用して、発明や特許を取れるようにしたら市が潤うと思います。発明抜きにしたら、世の中は進歩がないので、市で発明奨励賞のような賞を設けて、できるだけ発明することを奨励するのは大きな意味があるのではないのでしょうか。 少しずつ小金井市の予算は潤っているとはいえ、成長しているわけではなく、世の中のインフレに合わせるだけでしょうから、もっと予算全体のために発明について考えた方が良くと思います。	市の歳入を増やすためにということも含め、例えば学芸大学や農工大学といった教育資源があるから、それをもっと活用したらどうかというご意見だと思いますが、発明奨励賞というのは、今まで私が市長をやっていて初めていただいた御意見、御提案ですので、まず御意見として受け止めさせていただきます。 ただ、仰ったように、市内には農工大学や学芸大学、N I C Tという、国の研究開発機関がございますので、そういったところと連携をもっとできるのではないかと、私も感じておりました。今までも包括連携協定を結んで、教員を派遣いただいたり、ボランティアを派遣していただいたり、共同で取組を行ったりはしていますが、そこをもっと強化して、歳入を増やす、もしくは教育を増やす、市民サービスが良くなる、こういったことに繋げられるような取組というのは必要なと思っておりますので、まず、御意見として受け止めさせていただきます。
2	公民館と市民掲示板の利用について	関連性のあることを続けて2つ伺います。 私は、本町公民館でシニアのためのカラオケサークルの代表を引き継がせていただいています。コロナ禍以降、サークルが増えているらしく、今は公民館を無料で使用できますが、今後は使用料を各サークルから集めるようになるという噂を聞きました。その金額や、いつ頃から始めるのかということがわからないので伺います。 それから、公民館では備品が時々無くなることがあるようです。例えば、テレビのリモコンや、昨日は鍵盤カバーが無くなっていました。黒板の横に、「備品などが無くなっていた場合は、事務所のほうにお知らせください」と小さく書いてあるので、公民館の職員にお知らせすると「探しているけど無いんです」でお終いなんです。補充するわけでもありません。使用時間が終了する時には、用紙に借りたものも書いて提出しますので、公民館の職員がきちんと貸し出した部屋に入ってそれを確認してから、皆さんをお帰しするようにして欲しいと思います。 それについては、去年、各サークルの代表と、公民館の職員と話をした方が良くのではないかと、お伝えしました。コロナ禍以前はあったらしいですが、今は何でやらないのか尋ねると、コロナ禍からやらなくなったので再度考えますと言って、それきりになっています。借りる側と貸す側の意思の疎通がとれていません。何か言うと、公民館の指示に	まず、公民館の利用料の件ですが、まだ決定したものはありません。学識、関係団体、市民で構成された公民館運営審議会という、公民館の運営に関して議論していただく審議会があり、そこで一定の検討をいただいて、それを基に行政がどうするかを決定していくことになります。 基本は無料で運営してきましたが、公民館の使い方としては適切ではない使われ方が散見されてきたということが、ずっと課題としてありました。いわゆる、何々教室というようにして、お金を取って運営している営利のような使い方は、適切ではないと考えられます。 逆に、そういう方々が使っているからこそ、使えない団体の方がいらっしゃったりしますので、そこを何とか整理したいという思いと、公民館をいろいろな方々にしっかり使っていただくという思いを持って、どういう方々には使用料をいただくかといったことを検討してもらおうと思っています。 実費相当というのは聞いております。ですので、ここでは具体的には申し上げられませんが、そういう課題があるということ、それによって使えない方々がいらっしゃること、これを何とかしたいということも含めて、他の一定の方には使用料を払っていただくという条件設定を考える必要があるという考えでおります。 あとは、備品がなくなることや、もしくはその規約について、お互いに同じ目線で話ができているというお話をいただきました。どういう状況かというのは、今お話しいただきましたが、借りる側と貸す側が同じ認識を持ってできているかどうか、それが適

		従ってください、規約に従ってくださいと言われますが、規約が書かれているものを頂いていません。そういったことの繰り返しで、借りていて腹が立ってきます。どこに行ったらいいのか尋ねると、生涯学習課を案内されたのでそこへ行くと、生涯学習課ではないと言われ、本庁舎を案内されました。たらい回しにされるだけで回答を得られず埒が明かないので、コロナ禍の前に一度、都庁に行ったことがあります。そこでは丁寧に聞いてくださり、指導を入れましょうと言っていました。そうしたら指導が入ったようで、本町公民館に呼び出され、「都庁は関係ありません」といって怒られました。それでは、私たちはもう何もできません。いつも上から目線で、こちらは低姿勢で、そういうのは優しくないと思います。 他の公民館もありますが、うちのサークルは人数が多いので、どうしても本町公民館をお借りすることになります。もっと円滑に、借りる側と貸す側がうまくいくようにしていただきたいと思います。 公民館は何のためにあるんですかと尋ねた時、高齢者やお子さん達が、自由に様々なことができる場所を提供するために作られた場所だと仰いました。であるならば、きちんと規約をもって、私達も守っていくものは守って、ということで運営していくのでしたら、公民館の職員にも、きちんと誠意をもって補充するものは補充するということもしていただきたいと思います。 もう一つは、市民掲示板についてです。ここ3年間ずっと、会員募集などを貼らせていただきました。貼る期間は2週間ですから、日付を入れてきちんと貼っています。金色の丸い画鋏は、何かの拍子で落ちたときに針が上を向いて危険ですから、それを使用しないでくださいと言われますが、利用者は守りません。それ以外のルールについても、いつも広聴係の職員に言っています。 例えば市民掲示板には「期間を過ぎたものは剥がします」と書いてあるのに、剥がしている形跡はありません。もっとひどいのは、惣菜屋をオープンするための募集が貼ってあったことがありました。職員は点検しないのに、なぜ市民の私達が、貼る時に一々確認しなければならないのでしょうか。手間がかかって仕方ありません。 掲示板も、私達はルールを守っているのに、守っていない市民もいるんです。だから、例えば掲示場に、もう少し大きくルールを書いてくださいと言ったら書きますと言われたのに、結局そのままになっています。	切な運用としてできるお互いの認識になっているかどうかというところが、恐らく課題だということだと思いますので、こういう御意見がタウンミーティングで出され、そういった宿題をいただいたと、改めて担当職員にも話をしていきたいと思います。 たらい回しにされたということがありました。大変申し訳ございません。できれば、まず聞いた上で、できる対応をその場でやるべきだとは思いますが、まずは申し訳ありません。 【事務局】 いろいろと御迷惑をおかけしており申し訳ありません。市民掲示板は、市民の皆様がルールに基づいて自由に掲示をいただくために、市が設置をしております。 仰る通り、面が平らな画鋏は使わないようにお願いはしていますが、そういったルールを守られていない方も一部いらっしゃるというのは、こちらでも把握しております。 定期的な点検に関しては、今すぐに毎週1回といった形では対応できないかもしれませんが、本日、ご意見としていただきましたので、どういう対応がとれるか検討させていただきます。
3	町会・自治会について	回覧板についてです。回覧板というのは、昔はおそらく隣近所と挨拶ができるようにということで回っていたんだと思いますが、市報がこれだけスムーズに各家庭に配られている今、何の価値があるのでしょうか。 私のところは、次に届けるところに行くのも大変ですし、それで挨拶をするかという、今はそれぞれ郵便受けに置きっ放しです。しかも、皆さんゆっくりと回すので、中身は何日も経過してしまっているものばかりです。私が班長になった時に、急いで回していただけるように日にちを記載する表を作りましたが、あの回覧板の役目は何なのでしょう。 町内で、何度かこの回覧板は何の用なのかを口頭でも文書でも質問しま	回覧板については賛否両論あります。市内を4ブロックに分けて、ブロック毎の町会長さんに集まっていたいて、日頃、町会・自治会で感じていることについて意見交換をする町会長・自治会長連絡会を、年1回開催していますが、そこで回覧板についてお尋ねしたことがあります。回覧板を回すのはしんどいといった声を聞いていましたので、アナログの回覧板を回すのではなく、例えば、電子回覧板という形で、パソコンやスマートフォンでも見られるような回覧板にしたらどうかという投げかけをしてみたんです。その時に、回覧板の役割について述べられた方がいらっしゃいました。確かに、回覧板を持っていても、郵便受けに入れるだけかもしれないけれど、定期的に回していくことによって、特に独居の方がお元気でいらっしゃるかどうかを確認することに

		したが、回答がないので、市役所に電話をして、回覧板が今は一体何の役目を果たしているのか、きちんと欲しいと伝えましたが、そこからも回答がありません。 回覧で来るのは、今度のごみはいつ町内で集めますとか、掃除当番をしてくださいといったものです。社協の寄附もほぼ強制で、領収書には宛名と金額まで記載されています。違うところで既に寄附をしても、回覧板に入っていればしないわけにはいきません。社協は寄附金を集める一方で、恵まれない子どもたちといったところならまだしも、困窮していない団体にも、申請さえすれば助成金を出しているじゃありませんか。 他にも、うちの町会では、敬老の日のお菓子を1軒に1個配っているんですが、そのために回覧板に名前、住所、生年月日を書かせています。敬老に関する事なので「何歳以上」となっていますが、十何軒回るところだと、最初に書いた人の生年月日が、他の十何軒に知れ渡ることです。個人情報の点から考えても、そんなことを回していくこと自体が既に時代に合わないと思います。書かせていない町会もあるのであれば、統一していないところもおかしいですし、印刷も市の税金を使っているわけですよね。回覧板は本当に無駄なのでやめてください。	も繋がっているんですということでした。 市報があれば事足りるという御意見をいただいて、それは行政としては有難いお話ではありますが、回覧板には町会・自治会での取組や、お知らせ、町会単位での定期的な催しといった連絡もしくは町会だよりも入れて回しています。 市報は、全市的にお伝えしたいことをお知らせする媒体であって、お住まいの地域の取組、もしくは情報のやり取りについて、何かのツールは必要だということになりますので、完全に無駄とは言いきれませんが、意味がないと仰る方がたくさんいらっしゃるのもまた事実です。ただ、町会・自治会は任意団体ですので、その運営についてどうするかというのは、基本的には町会・自治会のほうで決めていただくということになります。 生年月日を記載して回覧板で回している件については、確認したいと思います。
		【事務局】 各町会・自治会は自治組織ですので、直接的な運営に関して市が何か言っているのではなく、回覧板も自主的にやっていただいているものになります。 市から各町会にお配りしているのは、両面刷りになっている「市政だより」というものの1枚だけですので、恐らくそれが回覧板の中に入っているとは思いますが。広報秘書課からは、市政だより以外、何も御案内しておりません。	ここは、両方の意見があって難しいところです。町会・自治会で災害の自主組織を作っているところがありますが、そこも会費を取って、災害時の防災訓練をやったり、その地域の資材を買ったり、いろいろな活動は行っているはずですが。それを、会費を払っていない方に使うのか問われたときに、誰も明確な答えは出せません。 会員じゃない人に対しては使えないと言う方もいらっしゃいますし、近隣に住んでいるんだから、そんなことは言えないと言う方もいらっしゃいます。 町会も自主防災組織も会費を徴収していますし、社協も募金などを徴収しています。そこに出したお金が、その後どう使われているかということがきちんと伝わっていないため、お金を出す意味合いに納得をされていないということだと思います。 町会・自治会は自主組織なので、行政とは上下関係や委託関係といった関係性ではありませんが、町会・自治会の運営で困っていることなどは御意見をお聞きますし、そういう意味でいうと、全く関わっていないわけではありません。ただ、回覧板をやめるかどうかについては、やはり町会・自治会の運営にもよります。 例えば、私は市長になる以前、所属している町会の役員をしていましたが、そのときは、ある御家庭からこういう意見があったけどどうしようか、といったことを、役員全員で話し合っていました。そういった、小さな声もしっかり話し合うという運営を見てきましたので、こういうふうに行っているんだという認識はありました。各町会・自治会が、例えばそういう声が上がったときにどう扱っているとか、そういったところまでは、当然一つ一つ見ていないのでわかりませんが、自主組織であったとしても、そういう声があったときには、納得いくかどうかは別として、少なからず返答や回答するといったコミュニケーションは、自治組織だとしてもあるものだと思います。 今は、町会をやめられる方が増えています。市議会からも、町会・自治会の運営について御意見をいただきますが、町会・自治会の加入率は、全世帯の割合でどんどん減っています。若い方がなかなか入らない、もしくは、お年を召した方々が、もう回覧板を

			回すのはしんどいとか、そういうことが増えていて、町会・自治会に入る方が減っています。ただ、やはり災害発生時や地域で何か困ったとき、相談できるかどうかということも含めた地域の自治を考えたときに、本当にそれでいいのかという御意見もあります。ですから、町会・自治会に入る方を増やすということも、一方では考えないといけないのではないかとこのところでは地域での関係性が希薄化しているというのは事実だと思います。ただ、それを大事にしようと考えてお付き合いされている方々もいらっしゃると思います。
4	都市計画道路について	私は、4つほど開示書を出しており、その中で説明会をしてほしいとお願いしています。 東京都の計画道路の3・4・11号線について、昨年から、質問や、市としてもやらなくてはならないことはあるということで、東京都に関係なく、市の中で独自にアンケートを取ろうという動きが出ました。そこで、協力を仰がれ、半年ぐらいかけて、いろいろと苦労して協力してきました。ですが、私達は今、土地を指定されて、そこを立ち退けとまでは行きませんが、可能性はあるわけです。そういう者たちに対して、都がどのような考え方でやっているのかというのを丁寧に説明してほしいです。 ただ、最近、法律のことまできちんと丁寧に調べていないのではないかということがわかってきました。はっきり言って、調べていないんです。リスクを冒しています。なぜかという、国は環境に関して法律を作っています。環境基本法、それから、生物の基本的な法律、それからもう一つ、道路を走らせるところに生物が住んでいたら危ないじゃないですか。そういうことも平気でやろうとしています。 私は、それについて、2つほど意見を出しましたが、それを検討された状況は見当たりません。検討をよろしくお願いします。 全てにおいて説明を受けていないので、説明会を開いてもらいたいです。アンケートを取られた時も状況の説明もなく、何も分からないままアンケートを出した人達も多くいることを知っています。自分もその1人です。説明のないままアンケートをしないでくださいという声がたくさんありました。それも、全く無視されました。 ひどいのは、生物学の先生にお願いして評価をしたことです。なぜ環境政策課があるのに、やらせないんですか。それも、外注に出して委託業者を選んでいますが、委託業者の中に、そういった生物学に対する見識のある方はいらっしゃらないと思います。それで、市長は個人的にそういう方を探して、個人的にそういう調査を行って、その生物学者の意向を考えずに、自分でいじられたというような状況を聞いております。そういったイレギュラーなことをやって、世間を騒がせたことを、それでいいと思っていっぱいしますか。 その生物学者に対して、市長はどういう対応をされたのでしょうか。その方は、分かったとおっしゃいましたか。 都に対しては、どう伝えたんですか。継続して出されるのか、都に従うのかははっきりお答えください。 私は本当に悔しいです。いつうちが引越さなくてはいけないのかとい	説明会については、まだ具体的にお伝えできる状況ではございませんが、開くことを検討しております。 東京都の都市計画道路について、市として独自検証して、その検証に基づいて総合的に判断をするということは、申し上げてきたところです。その中で、生物、生態系について懸念があるというお声もあり、もともとそういった専門家の方に意見を聞く必要があるのではないかということもありました。ただ、結果的に市長報告を撤回することになったのは、さきほども少し説明をいたしました、その引用の仕方、その手続に御指摘いただいたように不備があったということは事実です。そこは当然、イレギュラーなことをしてしまったということになりますので、それについては該当の専門家の方にも、直接私のほうからお電話をして、お詫びをさせていただき、ご了承いただきました。 東京都に対しては、そういう事実関係だけをお伝えをして、再整備を検討していますという報告だけをしています。再整備を検討しておりますので、今はそれしか申し上げられません。

		う、瀬戸際になってきました。１０年待っていますが、もう１０年かかるかもしれません。もういい加減にしろという気持ちです。	
5	クーリングスポットについて	昨年、担当部署に小金井市のクーリングスペース、クーリングスポットを聞いたところ、確かそれは、公民館と、あと野川センターを含めた６か所しかないと言われたんです。 そこの部署が働きかけて、武蔵小金井の駅前とか、いろいろな地点、協力みたいな形で商業施設も含めてクーリングスポットを確保するといったことをしていないんだなというのがありました。 今年はそういう対策をどうしていくのか。練馬区はクーリングスペースとかスポットを含めて１５４か所あると確かニュースで言っていましたし、世田谷区は、そのスペースの場所がアプリの地図上で表示されるということでした。 何で、例えばイトーヨーカドーなどに協力してもらって、そういう分かるような形にもできないんですかって訊いたら、行って涼めばいいじゃないですか、ということなんです。商店街とか、皆さん行かれますから、逆に大事なのかなと思ったんですが、全然出なかったのが、ちょっと納得いきませんでした。スポットのうちの１つが野川クリーンセンターというのも、誰が行くのかなという感じです。 公民館もそうですが、病院の待合室のように椅子が並んでいるところでただ座っているよりも、１部屋なり確保して、少しは落ち着けるところを開放してもいいのではないかと思います。 既に気温も上がっていますが、今年はそういう対策というのははされますか。昨年は市報に出ていましたが、今年も市報が何かに出るんでしょうか。	まず、新しくできました資源物処理施設には広いスペースもありますので、そのスポットとしてしっかり位置づけようということです。具体的にどのように椅子を置くとか、その辺は、まだ聞いていませんが、あそこは活用できます。 それから、今、薬剤師会の皆さんにお願いをして、薬局をクーリングスポットとして位置づけられないかということを、調整させていただいているところです。何か所できるかまだ分かりませんが、そういう取組をしております。 他にも増やせることができるかどうかというのは、今はお答えできませんが、昨年の段階では、突然それを設けるという話になりましたので、我々としても十分対応できておりませんでした。今年はそれを増やすという検討を進めているところです。 野川クリーンセンターは市の施設ですし、あの辺は公園で、エアコンが利いている場所は他になく、スペースもあるということで、位置づけやすかったのですが、あそこがあればいいというような考えではありません。 ただ、おっしゃっていただいたし、お答えもしていますように、十分だとは思っていませんので、いろいろな団体などにも協力をいただきながら増やしていくことを考えています。市報にも出るはずですので、確認しておきます。
6	新庁舎・（仮称）新福祉会館建設について	今日、配られた資料の３ページの上に、市役所建設の話が出ておりました。建設事業者の応募なく、再公告へということで、今日出席されている皆さんにもぜひ聞いていただきたいんですが、なかなかうまく進んでこない中、この１月、参加、エントリーする方がなくて、再公告をしているということです。 この５月１６日に、参加の資格申請というものが一応はあったというお話は複数の方から聞いております。その後なんですが、６月２７日にいろいろなバリューエンジニアリングの対話をし、７月の２２日が応札のエントリーの日にちになるということです。それはこれからのことなので、まだ分かりませんが、仮に応札がなかった場合、市長はどういう判断をされていくのかを、お聞きしたいと思っています。 私が２月の２６日の建設特別委員会に陳情の場でお話をさせていただいたときに、庁舎建設等担当部長から答えがあったのは、もし入札がなかったら、建設費をさらに上増しする。それから、計画自体を見直す。それから、計画自体を凍結、一旦中止をするというお話をされていました。もし、今回もそういう考えで、７月の時点で同じことが生じた場合、小金井市として、どういう対応をとるのかを、お話しいただきたいというのが１点目です。 この話というのは、５年前、基本設計のパブリックコメントで、行政が	どのように判断するのかということは、今はお答えできません。ただ、選択肢で３つというのは、当然その３つだと思います。今、どれを選択するかというのは、申し訳ありませんが、申し上げられません。

		「意見のある方、言ってください」と言った時に、私がある案を出したわけです。その案というのは、市民案と言われたり、見直し案と言われたりしておりますが、行政側は検討をしないわけです。今回、議長になられた議員の方は一級建築士なんです、私の提示した案に対して、ルールを守らずに、横入りをして、自分の案を実現しようとする案だということを、2020年に議会でお話しをされたんです。 今現在も、この2月にも出席されたときに、オリンピックの予選で、もう優勝者が決まっているのに、俺のほうが速いんだと言って横入りをして、もう一回試合をやり直せと言っているようなものだ、そういう話をされている。 もう一人の議員の方も、そのときに、私もそう思うというお話をされています。これは、市民を本当にばかにしているのを通り越して、行政の手続自身を議員が理解していない。建物の本質を、このように解決したらどうですかという案が市民から提示されているんですよ。それを求めたのは、市長が求めたんです。 市民に汗かいて案を出させておいて、いろいろな声を、たしか300ぐらいの案が出たと思います。150名で、300項目を超える案が出た。そういったのを求めて実現しているのに、聞いたふりをするんです。一応、手続はやりました。やったけど、こういうことでしたと。 ですから、議長にしても、もう一人の議員の方も、他の議員の方もそうですが、建築の中身が分かっていないんですよ。このままいくと、36か月かかる。建設費も、130億を超える。大きな地震、関東大震災が起きたときに、福祉会館、つまり高齢者やお身体が不自由な方たちが使う建物が、能登半島級の大揺れになって、市長が入る建物はゆっくり揺れる免震構造。私はこれ、差別だと思っています。差別って言わないでくださいと白井市長は言いますが、これをもって差別以外の何物でもない建築だと思っています。 そういったことを書いてはありますが、発信を強くしないんです。それはなぜか。自分に不都合な事実だからです。もう、ここまで来てしまったから、これでやらなければならない。それを市報でも言わない。回数も、頻度がすごく少ない。ですから、この7月22日に、もし参加を、手を挙げた会社が、やっぱり応札はできないと断念したときに、案を改めてほしいんです。それ以外、道はないと思います。あるとすれば、お金を出す、一旦凍結をする、案を見直す、その3つがありますが、私たちの検討では、令和28年の10月1日の市制70年に計画案を見直しても間に合わせることは可能です。 そういったことに一切見ない、聞かない。そして、それに対してしゃべらない。そういう姿勢は、私は小金井市としてあるべき姿ではないと思っています。 3つお聞きしました。お願いします。	
7	犬のふんの不法投棄について	小金井市の西の端に住んでおります。道路のそばなので、散歩しながら、ごみ拾いもしておりますが、家庭のごみと犬のふんのことでお話ししたい	まず、ごみを減量するために干し籠を使用するアイデアがあるということで、そういったことをもっと広めたらどうかということですね。わかりました。

		と思います。 うちは大人２人で、極小袋を使用して月２回しか家庭のごみを出していません。家庭のごみは野菜と果物の皮が多いので、初めから濡らさないようにして籠に入れ、２０００年の１月１日から、外に干すことにしました。魚の皮や骨などはビニールに入れたうえで、冷凍庫に入れておいて、ごみを出す日にそれを中に入れて出すようにしています。それがもう２５年になります。だから、こういった籠が非常に便利なのでお見せしようと思ってきました。１,０００円程度で１０年はもちます。 それから、犬のふんのことですが、毎日、野川の土手に犬のふんを埋めに来る人がいます。小金井警察署で相談して、職務質問をしてもらいましたが、一向にやめません。土が硬くて深く掘れないので、犬のふんは浅く埋められています。そこより下流では、暖かくなると子どもさんが大勢遊びますが、毎日２回埋めている犬のふんが、雨でも降れば流れていきますから、不潔極まりないと思います。議員さんのおうちの前にお住まいの方なので、議員さんからも言っていただきましたが、言うことを聞かない人で、毎日犬のふんを埋めに来ています。何とかならないでしょうか。	それから、犬のふんの件は、どう対応できるか、今はお答えできませんが、仰られた議員の方は３月で辞められましたが、私も知っている方なので、相談してみます。
8	穏やかで明るい街について	２９回目で初めてタウンミーティングに参加させていただいた者です。皆さんの発言を聞きまして、思い当たることもあります。私の場合は、情報提供をし、職員の方は速やかに対応してくださって、小金井市民として、よくやっていただいているという感謝の気持ちを持って生活してきています。 ただ職員の方に情報提供しても、限度があると思うんです。それを議論として持っていくのではなく、創意工夫をして、庁内で上下関係もある中ではありますが、そういう方との意見を踏まえて、よりよい小金井になるようにと思います。人口も１１万から１２万に増えましたし、もっと成長し、１００周年になる小金井だから、もっともっと住みよい穏やかで明るいまちになるように。 市民が、市の行政の下に意見を言うのはいいんですが、もっともっと明るいまちに持っていきたいという個人の気持ちを持って、初めて参加させていただきました。	ありがとうございます。ただ、いろいろな方々のふだんの生活している中で、不便、もしくはおかしいという御意見は我々も真摯に聞いていきたいと思いますので、引き続き、こういったタウンミーティングの場も含めて、おっしゃっていただいたように、もっと明るいまちになっていけるように。恐らくいろいろな意見が出るというのは、行政としてはまだ不十分な点が多いということだと認識をしておりますので、しっかり取り組んでまいりたいと思います。